

△マニラ（ロイテル電） 七月六日

（星港發）重慶は馬來方面防備増強の爲、同地方在住の支那人を強制的に發送してゐる。

◎ソ聯、米物資一億弗を輸入

△重慶 七月四日 支那語放送

（華府二日發國際電）消息に依れば蘇聯は米國から價額一億弗の物資を購入し國防工業に使用する事となり蘇聯大使が右の件提出後米國では國防用品價額一千一萬弗の物資を輸出する事を許可し其内には機械、軍用品等を含んで居る、而して目下蘇聯船十五隻は米國各港に停泊し運送の準備をなしつつあると。

◎獨商船隊極東に活動

△上海 六月三十日

海運筋の消息通が傳へるところによると、極東の諸港に於ける十三隻のドイツ商船がイギリス側の封鎖を突破して常陸半島航路に就航する爲に重要な戰時補給品の積込を開始した。

之等の物資はシベリア經由でドイツへ輸送する目的で大連其の他の日本の諸港で倉庫に入置られてゐたものである。最近上海で多数の支那人水夫や火夫が募集され、ナチス汽船の乗組員として神戸へ送られた。之等の汽船のもとの乗組員は高級船員と機関士のみを残して数ヶ月前にドイツへ歸つてしまつたのである。極東に於けるドイツ汽船の大部分は目下神戸に停泊してをり、それ等は豪華船の「シヤルンホルスト」號を始め、貨物船「リツクマース」號、「ウイネトン」號、「メルゲンランド」號、「エルゼスベルガー」號、「ムンスタール」號、「ラムゼス」號、「クルマーランド」號等である。其の他の五隻は日本近海及び朝鮮の港に於けるものと見られてゐる。更にイタリイ汽船五隻が神戸、二隻が上海に於ける。中立國の汽船筋では、ドイツ汽船は稀かに南米へ逃れ、そこからドイツ又は地中海へ行く計畫を對て、あるものと推定し、この長い航路を行くには燃料の爲に貨物の積載量を犠牲にしなければならぬと指摘してゐる。ドイツ領事局及び半官筋では極東に於てドイツ領手先を買収し、シベリア經由で本國へ輸送する爲に買占めた商品を投賣してゐる。青島のドイツ人協會は支那人の買手に對して落花生、胡桃、亞麻の種子、棉の種子、大豆油等の莫大をストツクを市價よりも三十%も安い値段で賣つた。最近ドイツへ大豆油を送る爲に開闢された青島の線もドイツ商會は既に閉鎖してしまつた。

本資料は、（？）電信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的な報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

外國宣傳情報 第五十一號

昭二六・七・九情報局

◎南京政府承認と重慶宣言

重慶は汪政權承認に對し正式發表をなせるが獨伊の行動は中國に對し甚しい侮辱であり、日本と惡を共にすべく結合したが、結局は困窮の餘に出たもので獨伊自らの弱點を證明した之により中國の進路は一層明確となつたが、一面日本のソ聯攻撃促進すべしと宣傳しあり。

△大衆觀報電報（ヘパス電）七月二日 北京發

（重慶一日發）外交界の某著名觀察家は中國は獨伊との外交關係を斷絶せんと認め又獨伊の承認は必ずや交換條件あるべしと信じあり、換言せば日本は即時獨伊を援助し蘇聯を攻